

治安・安全情報

(リヨン及びローヌアルプ州)

平成26年(2014年)7月
在リヨン出張駐在官事務所

目次

1. 今月の安全・防犯のポイント
2. 在留邦人の被害事例
3. 地区別治安情報収集結果(新聞 Le Progrès 紙より)
4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件(新聞 Le Progrès 紙より)
 - ① 窃盗犯罪事件
 - ② 粗暴犯罪事件
 - ③ 凶悪犯罪事件
 - ④ 知能犯罪事件
 - ⑤ その他の事件
 - ⑥ テロなどに関する一般治安情報
5. 今月の出来事

1. 今月の安全・防犯のポイント

大雨、強雷、落下物などに注意

今年の夏はあいにく天候が悪く、激しい雷雨に見舞われることが頻繁にある。リヨン郊外の街では、突然激しい落雷に襲われ、モミの木に火がついたり、金網柵が溶けたり、停電になることもしばしば起きている。雷が始まったら、屋外にいる際は特に注意して木の下をさけ、早急に建物内などに避難すること。また、屋内、自宅などにいる場合には、雷の侵入経路はさまざまなため、電話線やインターネットの有線ボックス、テレビのデコダーなどの電源を落としてプラグをコンセントから抜いておき、落雷で電子・電気製品などが故障しないように注意したい。(雷対策用の分電盤なども市販されている) また、大量の雨で地盤が弱くなっているため、パカンスや週末の出先では土砂崩れや落石、また木の枝の落下などにも注意したほうが良い。

リヨン市第3区 Gabriel-Péri 広場で警察一斉取り締まり

第3区の Gabriel-Péri 広場では、偽造たばこや覚醒剤、盗難電話転売や衣服などの違法行為が日常的に行われ、近隣住民は日頃から、この広場の人だかりや夜遅くまでの騒音などの迷惑行為に対して不満を訴えている。先日警察官が大麻取引容疑者を尋問しようとした際に、周りにいた人々により警察官の活動が妨害された事件をきっかけに、7月24日と25日には、リヨン市第3区警察がこの広場の一斉取り締まりを行った。警察の姿を見た途端、違法販売者は商品の衣服や偽造たばこなどの入った袋などをおいたまま慌てて逃げ出した。この2日間で暴行罪や銃器所持などで5人が逮捕されたが、3区警察では、この Gabriel-Péri 広場地域だけで今年100件の偽造たばこ販売、10件の盗難、13件の盗難品転売などによる逮捕をしているとのこと。

2. 邦人の被害事例

6月末、日本人旅行客の女性2人組が、午前8時半頃フルヴィエールのノートルダム大聖堂前で観光していた際、フランス人風の夫婦2人組から写真を撮ってほしいと話しかけられカメラを渡されたが、ふいに日本人女性のうちの1人が自分の財布が地面に落ちているのを見つけたため、「泥棒！」と叫んだところ、この夫婦と周りにいた2・3人が走って逃げて行ったとのこと。現地ガイドの話によると、最近は観光地で物乞いやスリが増えており、単独や少人数での観光をするときには、近づいてくる人などにはくれぐれも注意をする必要があるとのこと。

7月7日、家族でスイスを旅行中のリヨン在住日本人女性が、電車がジュネーブ駅に到着した後、ひとりでスーツケースとベビーカーを持ち、リュックを背負ってスロープを降りていたところ、後ろにいたカップルがイタリア語で何か話しかけてきたが、そのまま何もせず立ち去って行った。その時リュックサックのチャックが開いていることに気づき、中にあった財布が無くなっていた為、カップルが犯人であろうと後を追いかけて、駅を出ようとしているカップルを見つけて捕まえ、強引に男性のバックの中を確認し、その中にあった自分の財布を取り戻した。その後ホテルにチェックインし、警察に届けるために再度駅に戻ったところ、このカップルがまた駅構内にいるのを目撃したとのこと。

3. 地区別 治安情報集計結果

2014年7月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	東	西	南	北	AIN県	ISERE県	LOIRE県	合計
凶悪犯 (殺人、強盗、放火、強姦等)				1		2			1	5	1	1	2	1	1		15
粗暴犯 (暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合等)	2	4	6				1	3	4	11		1	5				37
窃盗犯 (侵入班、乗り物盗、車上荒らし、ひったくり等)	3	3	6	1	1		2	1	6	7		1	4			1	36
知能犯 (詐欺、横領等)		1	1		1	1		1		2							7
その他 (賭博、売春、麻薬密売、迷惑行為等軽犯罪等)	5	1		1			4	2	3	1			3				20
合計	10	9	13	3	2	3	7	7	14	26	1	3	14	1	1	1	115

※ 数字はプログレ紙に掲載された犯罪記事発出数で、統計的な意味はない。

グランリヨン東→Jonage, Meyzieu, Décine-Charpieu, Chassieu, Saint-Priest, Bron, Villeurbanne, Vaulx-en-Velin, Mions
グランリヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
グランリヨン南→La Mulatière, Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison, Vénissieux, Solaize, Saint-Fons, Irigny, Feyzin, Corbas, Vernaison, Charly, Grigny, Givors
グランリヨン北→Caluire, Rillieux, Sathonay, Fontaines-sur-Saône, Fontaines-St-Martin, Rochetaillée-sur Saône, Mont-D'Or, Limonest, Lissieu, Neuville, Cailloux-sur-Fontaines, Montanay, Genay

4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件（新聞 Le Progrès 紙より抜粋）

① 窃盗犯罪事件

7月1日午後11時半頃、Saint-Bonnet-de-Mure市の農家で、以前から被害に遭っていたため温室や畑などを監視していた農家の人達が、野菜などを盗んでいた東欧出身の2人の男達を捕まえて警察に引き渡した。その翌日には、この犯人の家族らが農家の自宅前で侮辱の言葉を投げかけ続け、警察が再び介入することとなった。

7月3日午前1時頃、リヨン市第7区でアパートの窓をこじ開けようとしていた若者2人が、パトロール中の警察に尋問され逃げようとしたが Bons-Enfants 通りで逮捕された。同地区の Yves-Farge 広場に住んでいるこの2人のアルバニア人は、手袋とドライバーを所持していた。

7月3日夜中、Villefranche-sur-Saone 市にあるイスラム教礼拝堂ブルーモスクが空き巣の被害にあった。現金と、寄付金が入った封筒をいくつか盗まれたとのことで、その被害額は約2000€から3500€と見られ、ラマダン期間中の被害に関係者は動揺している。

7月7日夜中、リヨン市第5区 Joliot-Curie 通りにある工事現場から、ベランダ用の金属製の手すりが盗まれた。これらは、まだ設置前の状態で2階部分に保管してあったもので、合計1.7トンに及ぶ金属を盗んでいった犯人は複数だとみられている。想定被害額は12000€。

7月9日正午頃、リヨン市第8区内にある老人ホームに侵入し、入居者数人の部屋から、現金や宝石などを奪い取って逃げた40歳の男が、その直後に警察に逮捕された。この男は不法滞在中の外国人だった。

7月10日、リヨン市第9区地下鉄 Gorge-de-Loup 駅で、数日前からスリ行為を働いていた16歳の少年2人組が逮捕された。監視カメラの映像から、この2人が携帯電話や財布などを地下鉄駅などの通行人から奪い取っていることが判明したために、警察がこの2人を捕まえた。

7月11日午前1時前、リヨン市第3区 Docteur-Rebatel 通りにあるパン屋に、2人組の男達が空き巣に入っているところを、近所の住民が不審に思い警察に通報し、駆けつけた警察が逮捕した。

7月12日午後8時半頃、Villeurbanne 市でパトロール中の警察官が、車のマフラー10本を盗んでいた31歳と39歳の男2人組を逮捕した。

7月13日、リヨン市第5区 Minimes 通りにある Jean-Moulin 小学校に何者かが侵入し、コンピューターなどを盗み出していった。

7月16日、アン県 Saint-Vulbas 市で、ローヌ河沿いの畑などに車を止めて河で遊泳している人たちの車7台を、ドライバーなどでこじ開けて車内にある物を盗みだしていた42歳の男が、目撃者が逃げる車のナンバーを控えていたために身元が判明して逮捕された。

7月17日午前5時頃、リヨン市第1区 Paix 広場で24歳の男性を殴り、刃物で脅して男性のネックレスや煙草を奪い取った後共犯者と逃亡していた17歳の少年が逮捕された。

7月17日午前11時頃、リヨン市第3区 Saxe 通りで、売上金を入金するために銀行に向かって歩いていた煙草店店主が、何者かにいきなり襲われて催涙ガスをかけられ、現金の入った鞆を奪われそうになった。幸いにも鞆は取られずに済んだが、催涙ガスのために男性は軽傷を負ったとのこと。

7月18日、リヨン市第9区安全監視優先地域で、盗難車に乗っていた17歳と14歳の未成年2人組が逮捕された。この前日住居強盗で盗まれた車の鍵を所持しており、また1人の携帯電話には住居強盗被害者のクレジットカード番号情報が登録してあった。

7月20日、リヨン市第9区地下鉄 Gorge de Loup 駅で、乗客からカードや計算機などを盗み出していた25歳のホームレス外国人が逮捕された。

7月22日午前5時近く、La Mulatière 市で怪しい車を警察が尋問した。調べると、この車は7月9日に住居強盗で盗まれた車と判明したが、運転していた男は警官の隙を狙って逃亡した。助手席にいた29歳のコソボ人は、盗難車だと知らなかったと証言したが、この男の自宅を家宅調査したところ、空き巣に使う道具などが発見された。

7月24日午前4時頃、リヨン市第4区 Bertone 広場で14歳から17歳の未成年4人組が逮捕された。彼らは商店に空き巣に入ろうとしているところだった。この中の17歳の少年は他の空き巣事件に、その弟は第8区での覚醒剤密売に関与して逮捕されていたことが判明した。

7月25日、リヨン市第3区の自宅にバカンスから戻った若い女性が、自分のアパートの中に空き巣がいるのを発見した。すぐに警察に通報し、21歳のホームレスの男が逮捕された。

7月25日、Villeurbanne 市 Roulet 通りを歩いていた視覚障害のある62歳の女性を暴力的に襲い、女性が近所の銀行で引き下ろしたばかりの2500€を奪い取って逃亡していた15歳の少年が、自宅で逮捕された。

7月28日夜、リヨン市第9区で、赤信号で止まっている車を次々と襲っていた男が逮捕された。酒に酔った26歳の男は、赤信号で止まる車を次々と銃で脅し、脅迫して車を盗もうとした。4人目に脅迫された男性が、言われるまま助手席にこの男を乗せて運転していたところ、パトカーを見かけた為とその横で車を止め、犯人が逮捕されることとなった。

② 粗暴犯罪事件

7月1日午前1時頃、リヨン市第1区 Ménestrier 通りで、14歳と16歳の少女と24歳の若い女の3人組が逮捕された。この3人は通行人女性を暴行してカバンを奪い取ろうとし、また盗難スクーターを押していた。そのうちの1人は泥酔状態でもあり、3人とも身柄拘束となった。

7月1日午前7時近く、リヨン市第3区 Charles-Béraudier 通りで酒に酔った男から電話を貸してくれと言われた男性が、盗まれると怪しく思って拒絶したために、腹をたてた男から激しく暴力を受けた。このホームレスの男はその後身柄拘束となった。

7月2日、リヨン市第9区で家族間の揉めあいが高齢で、金槌で弟を殴りつけた男が逮捕された。

7月6日夜、リヨン市第4区で車を運転していた55歳の男が逮捕された。この男は、La Croix-Rousse 大通りのカフェ数店のテラスに突っ込み、テラスを破損したが、幸い人的被害はなかった。男は許容量以上の酒気を帯びており、すでに免許も停止状態になっていたとのことで、ただちに警察に身柄拘束された。

7月7日午後、リヨン市第3区 Bahadourian 広場で行われたラマダン市場において、通行を妨げる駐車車両を移動させようとした警察に対して、車の持ち主と周りの人達による妨害的な騒動が始まり、口喧嘩から脅迫や侮辱、物を投げ始めるなどの暴行に発展した為、警察官は催涙ガスやフラッシュボールを使用して騒ぎを押さえようとした。警察の話によると、200人程が集まって警察官に立ち向かってきたとのこと。この際に侮辱罪などで逮捕された数人は、社会奉仕活動140時間などの有罪となった。

7月7日夜中、リヨン市第9区 Albert-Falsan 通り付近で、パトロールしていた警察官達がいきなり15人程の若者達グループに囲まれ、侮辱されて石などの物を投げられる対象となった。警察官達はグループを拡散させるためのゴム弾を使用せざるを得なかったらしい。

7月7日午後5時頃、Meyzieu 市内のプールの近くにある踏切で、空港行き急行トラム・ローヌエクスプレスが12歳の子供に衝突した。この子供は、踏切の遮断機が下りているにもかかわらず、自転車で線路をわたろうとしていた。子供はすぐに病院に運ばれ、大怪我を負ったが命に別状はなかった。

7月9日、リヨン市第2区 Lafayette 橋上で、60歳代の男と、男女3人組みとの間で争いがあり、60歳代の男が突然隠していた銃をとりだして三人にむかって発砲したとのこと。幸い怪我人はなかったが、男2人がそのあと60歳代の男から銃を奪い取り、殴り掛かって重傷を負わせた。

7月11日午後、Villeurbanne 市 Charpenne 駅で、リヨン市交通 TCL 職員が車に乗った4人組の男達から暴行を受けた。TCL 職員は金槌で殴られた上に催涙ガスを撒かれたとの事で、警察では犯人を捜している。

7月15日、安全監視優先地区として指定されている Vaulx-en-Velin 市 Pierre-Dupont 通りで、盗難オートバイをロデオの様に乗りまわしていた4人組の若者のうち、18歳の若者1人が逮捕され、残りの3人は警察官に抵抗しながら逃亡した。このオートバイは5月末にイゼール県で盗まれたものだった。

7月15日早朝、リヨン市第2区 Bellecour 広場で集まっていた群集な中にいた14歳から17歳の未成年4人組が、警察がいる方向に向かって迫撃砲を投げたために逮捕された。

7月15日午後7時頃、Villeurbanne 市 Jean-Voillot 通りにあるパン屋からでてきた59歳の女性が、いきなり3人組の男達に囲まれて金のネックレスを奪い取られた。犯人達はそのまま逃亡した。

7月16日午後3時頃、リヨン市第8区 Henri-Barbusse 通りにある Grand Lyon 所有の廃墟地で、廃材などを集めて火をつけていた14歳と15歳の少年2人が警察につかまった。大量の煙が近所に立ち込めたため消防隊などが駆けつけたが、幸い怪我人や損害などはなかったとのこと。

7月17日午後5時頃、リヨン市第7区 Crépet 通りを歩いていた21歳の若い男性が、2人組の男達に殴り掛かれて財布と携帯電話を奪い取られた。犯人達はそのまま逃亡した。

7月20日、リヨン市内で16歳の未成年少年と18歳の若者が警察に逮捕された。この2人は、その前日未成年少年の父親が使っている Vaulx-en-Velin 市役所所有車を乗り回しながら、交通違反を繰り返していたために、市内の警察官がこの車を止めようと車の両側につかまっていたが従わず、数十メートル走り続けて警官達に怪我をさせた。

7月21日午後8時半頃、Vaulx-en-Velin 市で無免許、無ヘルメットでスクーターに乗り、交通検問の際に逃げようとしてパトカーに衝突した19歳の若者が逮捕された。

7月22日午後10時近く、Caluire-et-Cuire 市 Saint-Clair 大通りで、身分コントロールの際に市警察官に対して暴力的に反抗し、警察官2人に軽い怪我をさせた23歳から32歳の兄弟を含む4人組が逮捕された。

7月24日午前0時頃、リヨン市第1区 Colbert 広場で警察の車に対して唾を吐きかける等の侮辱行為を行い、暴行や反抗行動を続けた24歳の男女2人組が逮捕された。

7月26日午後5時半頃、Villeurbanne 市内で交通事故があり、怪我人はなく車の被害だけだったが、この当事者達の話し合いが折り合わず揉めあっていた。そこを通りかかった勤務時間外の警官が仲介に入ったところ、当事者のうちの2人の男達がこの警官に殴り掛かり、軽傷をおわせたために、2人は身柄拘束となった。

7月29日午後11時半頃、Caluire 市の警察が、Montessuy 地区で行っていた交通検問の際に、検問を逃れようとした一台の車がパトカーに衝突し、乗車していた警察官が怪我を負った。逃れようとした車に乗っていた運転手は直ちに身柄拘束となった。

7月31日午前3時頃、Saint-Cyr au Mont d'Or 市内一般道で盗難バギーで危険な運転をし、乗り回していた2人組を見かけた警察が、2人を尋問しようとして追跡したところ、このバギーを運転した男はローヌ河に飛び込んでそのまま姿を消してしまった。ヘルメットを着けていなかった同乗者のチュニジア人は不法滞在者であり、運転していた男を知らないと言っている。

③ 凶悪犯罪事件

7月2日午前2時頃、Caluire 市のマクドナルドに2人組の強盗が入った。この2人は覆面をして銃を持ち、帰宅しようとしていた職員達に銃を向けて、レジの現金を出すように脅迫した。金を奪った犯人達は走って逃亡したとのことで、現在調査中である。

7月9日、Villeurbanne 市内 Perralière 地区で、40歳の男性が何者かに拳銃で撃たれて死亡した。犯人らしき2人は、車に乗って逃亡したらしい。近所の人々の証言などにより警察では過去のトラブルの復讐ではないと推定しているが、この男性も10年服役の前科がある。現在警察で調査中。

7月10日午後9時半頃、リヨン市第4区 Joseph-Gillet 河岸で、速度を出した車が自転車を轢いた。車を運転していた男は、自転車に乗っていた被害者を数十メートル引きずり、意識が無い被害者をそのまま放置して歩いて逃げようとしたが、居合わせた通行人がつかまえたために、警察に身柄拘束された。自転車に乗っていた28歳の男性はすぐに病院に運ばれたが翌日死亡した。車を運転していた30歳の男は、血中1.5g/リットルの酒気を帯びていた。

7月13日、リヨン市第6区 Vendôme 通りのアパート内で、48歳の女性が死亡しているのが発見された。煙草を購入する為に朝自宅を出て、戻ってきた際に夫が死体を発見して通報したとのことだが、現在、夫婦間に問題があったかどうかなど取り調べられている。

7月17日午前9時半ごろ、リヨン市第9区 Vaise 大通りにある宝石店に50歳代の男が入店し、店内でポケットからいきなり銃を出して店主を脅し、宝石（想定額約60,000€相当）を奪い取って逃亡した。この宝石店は、今年になってからこれですでに3回強盗に入られている。

7月18日午後、アン県 Bagé-le-Châtel 市で殺人事件が発生した。66歳の男性宅の庭に3人組の男達が侵入して立ち小便などをしたために言い争いとなり、殴り合いがはじまった。殴られた66歳の家主は鉄の棒で男達にさらに殴りかかり、その後銃を取り出してきて、1人の男の頭を撃って死亡させた。争いの詳細など、現在調査中。

7月22日午後、Décines 市 République 通りにある宝石店で強盗事件が発生した。覆面をした2人組の犯人達は、店主が閉店して外に出てこようとするのを待っていた様子で、銃を向けて脅し、現金などを奪い取って逃亡したとのこと。被害額についてははっきりわかっていない。この宝石店は過去3年間で4回目の強盗事件にあったことになる。

7月23日午前8時頃、Tour-de-Salvagny 市を走っていた現金輸送車が強盗に襲われた。この車は、普通車仕様で目立たず、付近の企業からの現金を輸送しようとしていたところ、すぐに2台の大型乗用車に挟まれて停車させられた。覆面をした3人組の男達が輸送車の運転席の窓ガラスを割って運転手を引っ張り出し、犯人のうちの1人がその車を運転し逃走、2台の車も後ろについて逃走した。輸送車の運転手が直ちに警察に通報し、警察のヘリコプターなどが捜査したところ、付近の Dommartin 市で3台の車が炎上しているのが発見された。被害額は数千ユーロとのこと。

7月24日午前11時半、リヨン市第6区 Lafayette 通りにある宝石店 Rose d'Or に強盗が入った。店主の話によると、まず購入意思を持ったような若い男性が様子を見に店内に入り、また戻ってくると言って一度店外に出た。その後、店の前の通りで電話をして誰かを待っている様子が見えたとの事。再度この男性が店内に入ろうと呼び鈴を鳴らしたために開扉したところ、2人のヘルメットを被った犯人が鉄棒と噴射ガスを持って侵入し、店内のショーケースなどを破壊して貴金属を奪って逃げて行ったとの事。幸い、店内にいた店主の妻に怪我はなかったが、約300,000€相当の商品が盗まれたとの事。

7月24日午後7時頃、Meyzieu 市で車に乗っていた男性が、2人組の男達から銃弾8発を受けて死亡した。消防隊がかけつけたが、この男性は頭に銃弾を数発うけていたために救命できず死亡。男性は大麻取引などで重い前科をもち、昨年11月に出所したばかりで、警察では犯罪組織に関連する仕返しのための復讐犯罪だと見ている。

7月26日 Bron 市で、自分の母親を刃物で殺し、その後かけつけた警察官に飛び掛かって警察官から奪い取った拳銃を発砲した24歳の男が、その殺人容疑で警察に尋問を受けたが、精神的に問題があるため、現在は病院に入院している。

7月26日午後6時頃、Grigny 市のスーパーLidlに覆面をした何者かが侵入し、銃で職員を脅してレジ3台の中の現金を奪い取り、そのまま逃亡した。現在捜査中。

7月29日午後3時半頃、イゼール県北部にある Dolomieu 市のたばこ販売店に、突然2人組の覆面をした強盗が侵入し、銃で脅してレジの現金やたばこなどを奪って逃げた。この際、店内にいた客の1人の若い男性が犯人を追いかけていったが、犯人が発砲したために銃弾を受けて死亡した。犯人はそのままあらかじめ近くの街で盗んだ盗難車に乗って逃亡した。

④ 知能犯罪事件

7月9日、Villeurbanne 市内の銀行で、偽造の身分証明書やパスポートを持って新しい口座を開こうとしていた44歳の男と21歳の女が逮捕された。彼らの自宅には、それ以外にも偽造旅券が何冊もあったとのこと。

7月9日、Vaulx-en-Velin 市在住の53歳の女性看護師(個人経営)が、社会保険局に対して2009年から治療看護の不正支払請求をして、総額約1068000€の詐欺行為を働いたとして社会保険局から訴えられていたため、警察に身柄拘束された。

7月28日午前6時半頃、リヨン市第5区 Champvert 通りにある ATM 機に仕掛けてあったキャッシュトラッピング用の装置を外して現金を取り出している46歳の男が、警察に逮捕された。キャッシュトラッピングとは、利用者が現金を取り出せないようにする定規のような金属製装置を現金取り出し口に取り付けて、その現金を盗み出すこと。

⑤ その他

7月1日、リヨン市第7区にダミー協会を設立して、それを隠れ蓑として活動していた麻薬密売組織が警察により摘発された。この組織は、26歳から30歳の14人が、ピザの配達の様に乗って個人宅に薬物を配達していたとのこと、70人の警察が一斉捜査で取り調べに介入し、MDMA(エクスタシー成分) 941g、コカイン 40g、大麻樹脂 420g、大麻葉 20g や現金、スクーターなどが押収された。この MDMA(エクスタシー成分) 941g の市場価格は 94000€に上ること。

7月3日、清掃会社で働く27歳の男が Geney 市で逮捕された。この男は、働いている会社のトイレや友人宅の洗面所や風呂場に小型カメラを設置してその映像を盗み取っていたらしい。男の自宅からはポルノ系の動画なども没収されたとのこと。

7月3日、リヨン市第2区 Cordeliers 地区で、ポストカードを街角で販売していた26歳の男が、声をかけたにもかかわらず購入してくれなかった18歳と22歳の若い女性達に対して、人種差別(宗教)的発言や、殺すと脅迫をした。そのため、この女性達は携帯電話でこの男の写真を撮り、すぐに2区警察に被害届を出した。警察に尋問されたこの男は差別発言したことを認め、11月に裁かれる。

7月7日、アルバニアからヘロインを持ち込んでいたアルバニア人5人が逮捕された。ヘロイン 6kg と、その再調整混合物 10kg が押収された。

7月7日、Saint-Priest 市内スーパーAuchan で、女性のスカート内を携帯電話で撮影していた34歳の男が逮捕された。女性の夫が、怪しい男が妻の周りをうろろして疑わしかったために、スーパーの警備員に通報したとのこと。

7月10日、リヨン市第9区の La Duchère 安全監視優先地区で警察による一斉捜査が行われ、建物の共有ホールや通りなどで、個人の身元・身分証明書確認などがおこなわれた。建物の共有ホールなどからは、刃物や小石が大量に入った袋などが発見され押収された。このところ、リヨン市やその郊外の安全監視優先地域では、警察に対する暴動が頻繁に発生し、投石行為等が目立っている。

7月14日午後7時頃、Rillieux-la-Pape 市内の水泳プールで、若い少女達が更衣室で着替えているところを携帯電話で撮影していた36歳の男が、パトロールしていた警察に逮捕された。

7月23日、リヨン市第3区地下鉄 Saxe-Gambetta 駅構内で偽たばこを密売していた30歳のホームレス男が警察に逮捕された。逮捕される際、反抗して警察官をなぐり逃亡しようとした。

⑥ テロなどに関する一般治安情報

特になし

5. 今月の出来事

偽造商品が没収

7月15日リヨン空港の税関は、去る6月20日に、中国から輸入されてきた商品数千点が、偽造ブランド品だったために没収したことを発表した。輸入貨物の点検の際、中国からの貨物で、強力接着剤3700点、有名ブランドバッグ80点、高級バック19点、ビデオゲームキット450点などがすべて偽造品だったために没収、これらの商品は、最近ローヌ県内に設立された新しい商店で販売される予定だったとの事。2013年には、フランス国税関では約760万点の偽造品を押収しているとの事。

地下鉄B線、OULLINS 駅工事の為、一部閉鎖

7月15日から9月18日まで、TCL 地下鉄B線、Charpennes—Gare d'Oullins 間のサービスが、午後9時以降は Charpennes—Jean Macé 間のみとなる日があるため、利用する場合にはあらかじめ、リヨン市交通 TCL のサイトで調べておくことが必要であろう。 <http://www.tcl.fr/Me-deplacer/Infos-traffic>

7月14日革命記念日の週末

7月12日から14日の週末にかけては、プログレ紙によると、リヨンとその近郊都市で、合計約77台の車が炎上し、94人(その内2/3が未成年)が暴行行為などのために身柄拘束になったとのこと。リヨンの市内では第2区、5区、9区などで、また Saint-Priest 市や Meyzieu 市などで暴動がおき、警察では、430人から470人の警察官を動員したとのことだが、結果的に公共施設や商店などの破壊などの重大事件は起きなかったとの事。

ローヌ県水泳プールが新しくオープン

予定より2週間遅れて、リヨン市7区 Claude Bernard 河岸通りにある水泳プールが新しくオープンした。改装工事などもおこなわれ、新しくなったプールの入場料は、昨年の3.40€から8€に大幅値上げとなったため、7月17日オープンの日には、入り口前で反対運動をする人達も見られた。このプールの開館時間は午前10時から午後8時まで(月曜日は正午から)。 <http://www.lyon.fr/lieu/sport/centre-nautique-du-rhone-ete.html>

大木の枝が歩道に落下

7月20日日曜日の朝、Villeurbanne 市 Grand-Clément 広場郵便局の横の歩道で、いきなり大木の枝が落下した。この日は Villeurbanne 市内でも最も大きな青空市場が開かれており、たくさんの人がいたが、幸い怪我人はでなかった。この樹は過去2年間ですでに2回同じように枝が折れて落下しており、状態も悪化している様子で、住民は Villeurbanne 市がこの樹の伐採するよう求めている。

自動車がソーヌ河に転落

7月26日午前1時半頃、Confluence 地区ショッピングセンター裏の Rambaud 河岸歩道から自動車がソーヌ河に転落し、ロワール県在住3人の若者の死体が発見された。街や客船の監視カメラなどの映像や、3人以外に乗車していて逃げ出せた3人の事情聴取により、この車には6人の若者が乗車していたことが判明した。ロワール県から、唯一人の成人である男性の車に、5人の未成年者が乗ってリヨンまで遊びに来ていたが、アルコールや大麻などを消費したために運転できる状態ではなくなった成人のかわりに、無免許の未成年が運転し、知らない街での運転、大雨で視界が非常に悪く、河に間違っ て転落したとのこと。水中から3人は自力で助かったが、その後通りかかった若者達に助けを呼ぶように頼んだものの、そのまま翌日の朝電車にのって自宅に帰宅していた。この3人は、重過失致死罪、救護義務違反、無免許運転、危険致死罪などで起訴された。